



声をだす勇氣

日出学園中学校 二年 半藤 粹

私は犯罪や非行を防止し、犯罪や非行をした人の立ち直りを考えるにはどうしたらよいか考えた時、見て見ぬふりをする人を無くすことが大切なのではないかと考えました。なぜなら、内閣府による『子供に現在どんな人権問題が起きているか』という問いに対して約五十二パーセントが『いじめや虐待を見て見ぬふりをする』と回答したというデータが出ています。現在、見て見ぬふりをする人が多くなっているそうです。見て見ぬふりをする事で、犯罪者を増やすきっかけ、また、身の回りに傷つく人を増やすきっかけになってしまうと私は思います。

およそ三年前、私はテレビを見ていた時、とあるCMを見かけました。それは二〇二〇年に全国で放送されていたACジャパンの『児童虐待〜見えないフリ〜』というCMでした。内容は虐待の事実が気がつきながらも通報をためらってしまう人になり

向けて『通報することの大切さ』を訴求するといったものでした。そのCMはとても印象に残っていて、作文で犯罪や非行の防止をテーマに書くことになると、三年前のこのCMが頭の中に浮かびました。私はこのCMを見て、虐待だけに関わらず、いじめや窃盗など誰かが見て見ぬふりをする事で犯罪者が生まれるきっかけをつくってしまったたり、身近な人の様子の変化に気づいたけれど見て見ぬふりをしてしまうことで傷つく人が増えてしまうと私は考えました。これは犯罪や非行をした人の立ち直りをサポートすることにも繋がると思います。勝手な先入観で避けたり、見て見ぬふりをするのではなく、気がついた声をかけるなどの勇氣を持った行動が相手に救いを与えることになるかもしれません。ACジャパンのCMを見て見ぬふりをなくす内容だけでなく他にも、男女差別の減少を訴える内容

や、交通マナーの内容、動物を保護する内容など様々な社会問題に関わる内容を無くすためのCMを見かけたことがあります。私にとってそれらのCMは社会問題について考えるきっかけになりました。

私のイメージとして特に日本人は、面倒なことに巻き込まれないように、などといった考えで見て見ぬふりをしている人が多いと思っています。私も見て見ぬふりをしてしまうことがいけないことだとわかっていても、もし周りで事件に巻き込まれてしまいそうな人や事件を起こそうとしている人がいたらすぐにその人と向き合って声をかけることができると、自信を持って言うことはできません。しかし、今回しっかり向き合うことが大事だとわかり、そのような事が起きたら声をかけるべきだと思つことができました。見て見ぬふりをせず勇氣をだして向き合うことを一人ひとりが意識していけば犯罪や非行も少なくなり、犯罪や非行をしてしまった人のサポートもできると思います。